



特集
2.3ページ

「やってみたい」が
支えあいに変わるとき

生活協同組合コープこうべ様のご協力のもと、三輪小学校3年生がコープ柏原の店内で福祉体験学習を行いました。
(詳しくは、3ページをご覧ください)



よりそい・うけとめ・ほっとがへん

社会福祉法人 丹波市社会福祉協議会

- 本所 電話(0795)86-7171 住所 丹波市柏原町柏原2715
- 南部支所 72-1236 ■南部支所 山南分室 77-2359
- 西部支所 82-4613 ■西部支所 青垣分室 87-0084
- 東部支所 74-0477 ■東部支所 市島分室 85-0517



丹波市社協
ホームページ



丹波市社協
フェイスブック



丹波市社協
Instagram

「やってみたい」が 支えあいに変わる時

「何か始めてみたい」「地域の役に立ちたい」そう思っている、最初の一步には勇気がいります。今回の特集では、様々なことがきっかけになり、令和7年度、新たに活動を始めた皆さんを紹介します。

新町サロンふたば(青垣地域)

— 地域に芽吹くつながりの場 —

数年前に地域サロンが解散し、令和7年7月から新たにふれあい・いきいきサロンを開催しています。現在は月1回、ラジオ体操や脳トレ、季節行事などを取り入れ、約15名が参加しています。

インタビュー
代表 川崎ひとみさん



■ もう一度、地域に居場所を

数年前に地域サロンが解散し、「このまま途切れてしまうのはもったいない」と感じたことが、新たな挑戦の始まりでした。年齢を重ねる中で、「地域の人々が気軽に横のつながりを持つ居場所をつくりたい」そんな思いから、サロンの立ち上げを決意しました。

■ 仲間とともにスタート

近所の女性6名で開いた女子会で、自身の思いを伝えたところ、全員が運営メンバーに。立ち上げ当初は運営方法に悩みながらも、友人や社協のアドバイスを受けながら準備を進めました。自治会の協力もあり、活動は大きな後押しを受けました。

■ 名前に込めた思い

「ふたば」には、これから芽生え、元気に育っていくようにとの願いが込められています。新町に広がる交流の芽は、これからも着実に育っていきます。



サロンで楽しくレクリエーション

人と人とのつながりが希薄になりがちな今だからこそ、顔を合わせて語り合える場所の大切さが改めて見直されています。「新町サロンふたば」は、地域に新しい交流の芽を育てるあたたかな拠点ですね。これからも、社協として応援を続けます！



ミニインタビュー①

経験を生かして子育て ボランティア活動を



昨年子どもや高齢者に関するボランティア講座に参加しています。その中で声をかけていただき、丹波市ファミリーサポートセンターの協力会員として登録しました。保育士の経験を生かし、「自分にできることがあれば」と託児活動を行っています。お預かりした子どもが元気に保護者のもとへ帰る姿を見ると、少しでも手助けができた実感、やりがいを感じています。

ミニインタビュー②

学びが自分の仕事へ

親の介護をきっかけに、「介護」に興味を持ち始め、介護職員初任者研修を受講しました。研修では福祉の現場で働く講師から学ぶことができ、安心して仕事を始めることができました。今後は、介護福祉士等の資格取得を目指したいと思います。



手話同好会

— 学びを「続ける」仲間ができました —

令和7年度に手話奉仕員養成講座の入門課程を受講したメンバーが、次のステップである基礎課程に向けて手話同好会を結成しました。

現在は月2回、指文字の練習をはじめ、メンバー同士で手話を読み取る練習やテキストを見ながら講座内容を復習し、理解を深めています。

■ みんなの思いが形に

受講を通して出会った仲間と、「せっかく学んだことを忘れないように、みんなで練習を続けたい」という声が上がったことがきっかけです。学びを一過性のものにせず、次のステップにつなげたいという思いが形になりました。



インタビュー
手話同好会 の皆さん

■ 仲間と学ぶ良さ

同好会に参加することが毎回楽しみです。同じ志を持つ仲間と一緒に学ぶことでモチベーションが高まり、日々の生活にも張りが生まれています。



手話同好会からは、仲間と一緒に練習することで、学びが深まり、日々の生活にも活力が生まれる様子が伝わってきます。社協としても、こうした仲間同士で学びを続ける取り組みが、学習の定着だけでなく、地域でのコミュニケーションや支えあいの力を育むきっかけになると考えています！

丹波市立三輪小学校

インタビュー
丹波市立三輪小学校 八田 先生

— 体験したからこそ、 子どもたちに伝えられること —

昨年、市内小中学校の福祉学習担当が集まる福祉学習推進会議（社協主催）に参加し、コープ柏原店での福祉体験をしました。このことがきっかけで、2月に授業で子どもたちに同じ体験をしてもらいました。

■ 自身の体験から、子どもたちへ

8月の福祉学習推進会議に参加する前は、不安や戸惑いもありました。しかし、コープでの体験を通して、当事者の方々の苦労や不便さを実感し、「ぜひ子どもたちにも体験させたい」と強く感じました。

特に高齢者疑似体験では、日常の何気ない動作の難しさに気づくことができました。この実感が、授業での実施へとつながりました。

■ 気づきを行動へ

今回の学習を体験で終わらせるのではなく、日常生活の中で「自分にできること」を考え、行動につなげていく学習へと発展させていきたいと考えています。



コープの職員さんから
「障がい者サポートマイスター制度の説明」

■ 実感から広がった思い

体験後、子どもたちからは「お年寄りや身体の不自由な方の大変さが分かった」という感想や、車いす体験では、「力が弱くなったら自分で車いすを押すのはとても大変そう」といった気づきもあり、相手の立場に立って考えようとする姿が見られました。この気づきが、少しずつ子どもたちの中で思いやりの気持ちへと広がっているように感じられました。

福祉学習は、知識を学ぶだけでなく、相手の立場に立って考える心を育てる大切な取り組みです。今回の体験を通して感じたことが子どもたちの言葉となり、「自分にできること」を考えるきっかけが生まれました。社協ではこうした気づきが、日常でのちょっとした声かけや思いやりの行動へとつながっていくお手伝いをしていきます！



親子ふれあい交流会

ひなまつり交流会

3月3日(火)

講師 あそびの工房 もくもく屋
 田川 雅規さん



田川雅規さんを講師に迎え、親子で一緒に楽しめるふれあい遊びを中心に、笑顔と笑い声があふれる温かなひとときとなりました。手遊びや親子のふれあいを通して、子どもたちの動きもだんだんと活発になり、その元気な様子にママたちの顔にも自然と笑顔が広がりました。

親子で楽しい時間を共有できる、素敵な機会となりました。

参加者の感想

場所・人見知りがあるので泣いてしまった時間もありましたが、体を動かしたり、本の読み聞かせや人形劇を見たり、普段していないことが体験できてよかったです。最後には笑顔になることができました。

受賞されました皆さま おめでとうございます

令和8年1月末時点

丹波市社協より推薦を行い、永年にわたり福祉の向上にご尽力された皆さまへの表彰が行われました。日頃の活動に感謝し、受賞された皆さまを紹介します。(順不同・敬称略)

兵庫県くすのき賞

岩屋ほほえみサロン 上田いきいきサロン 新町いきいきサロン 松森ふれあいサロン

兵庫県こうのとり賞

青木 功 植木 淳子 田野 順子 堀河 眞作子

相談予定カレンダー

弁護士による無料法律相談日の予定です。(予約制)

▶相談時間 午後1時～午後4時
 (1枠30分)

▶予約受付 電話 86-7171
 (土日祝日を除く
 午前8時30分～午後5時15分)

開催場所	相談日	予約開始日
柏原福祉センター	4月14日	4月1日
社協西部支所 (氷上町香良42)	4月28日	4月15日
青垣住民センター	5月12日	4月22日
春日福祉センター	5月26日	5月13日

《よろずおせっかい相談所》 市内社会福祉法人で日常の悩みや不安等のさまざまな相談を受け付けています。

1. 支えあう地域へ

生活支援ボランティア「暮らし応援隊」の養成講座を、9月と3月に開催しました。参加者は14名。「自分のできることがあれば」との思いでご参加いただきました。講座では、生活支援活動に必要な基礎知識の講話や、実践を想定した実技研修を実施。暮らし応援隊は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支える大切な存在です。

これまでに講座を受講し登録いただいた皆さんが、安心して活動できるよう、社協も引き続きサポートしていきます。地域の中での“ちょっとした助けあい”が、大きな安心へとつながっています。



参加者同士でカードを使ったグループワーク

2. “できた”が自信に変わる調理講座

コロナ特例貸付を利用された方や、料理が苦手な方を対象に、1月～3月にかけて簡単調理講座を開催しています。目指すのは「プロのような料理上手」ではなく、「家で1品作れる自信」。調理実習では職員と一緒に調理を行い、無理なく、楽しく取り組める内容を心がけました。参加者からは、「緊張したけれど、自分でも挑戦してみようと思う」といった前向きな声が聞かれました。

“できた”という体験が、自信や生活の安定につながる第一歩になります。これからも一人ひとりの暮らしに寄り添いながら、継続してサポートしていきます。



調理から試食まで楽しく実習

3. 丹波で学ぶ、福祉の現場

社会福祉士を目指す武庫川女子大学2年生16名が、丹波市で5日間のソーシャルワーク実習を行いました。市内の社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへん丹波）が受け入れを行い、今年で4回目となります。

初日は、丹波市の地域福祉について理解を深めるフィールドワークや講義を実施。続く2～4日目は、「子ども」「高齢」「障がい」の3分野に分かれ、各施設での実習に取り組みました。最終日には、多くの関係者が見守る中で報告会を開催。学びや気づき、福祉への思いを自分の言葉で発表しました。

実習生の皆さんにとって、丹波市での出会いと経験が、これからの歩みを支える力となることを願っています。そしてこの学びが、未来の地域福祉へとつながっていくことを楽しみにしています。



2クール（2/16～20）の実習生

お知らせ

丹波市社協が行う講座や事業等のご案内です

介護職員初任者研修受講生募集のお知らせ

▷ 応募期間

令和8年4月13日（月）～令和8年4月24日（金）

▷ 受講期間

令和8年5月10日（日）～令和8年10月18日（日）

※毎週日曜日9:00～夕方に講義を実施します（計19日）+実習3日間

▷ 募集対象

丹波市在住または在勤で、原則すべての講義に出席でき、訪問介護等に従事することを希望される方。

▷ 受講料

39,000円

▷ 研修場所

柏原福祉センター（丹波市柏原町柏原 2715）



応募方法についてはHPもしくは
社協各支所・分室に設置のチラシをご覧ください。

講義日程はこちらから▶



兵庫県ボランティア・市民活動災害共済 加入受け付け開始

兵庫県ボランティア・市民活動災害共済は、ボランティア活動中の万が一の事故に備えていただくためのものです

補償項目	ボランティア保険	傷害補償
		賠償責任補償
		死亡見舞金（市民活動災害共済プランのみ給付対象）
加入申込者	社協に登録された団体および個人ボランティア	
補償期間	2026年4月1日0時～2027年3月31日24時までの1年間 （年度途中の加入については、加入手続き完了日の翌日0時から2027年3月31日24時まで）	
年間掛金	1名につき500円〈市民活動災害共済プラン〉	
	1名につき600円〈天災危険補償プラン〉	
加入手続き	パンフレット、加入申込書は社協本所、各支所・分室の窓口にあります。 必要事項を記入の上、最寄りの社協各支所・分室にお金を添えてお申し込みください。 ※2026年4月1日から加入を希望される方は2026年3月31日（火）までにお申し込みください。随時、行幸用保険・移送サービス交通傷害保険も受け付けています。	

お問い合わせ 丹波市ボランティア・市民活動センター ☎ 86-7171

皆さまからの優しさを地域につなぐ

善意銀行 の報告

令和8年1月・2月受付分

善意銀行では、市民の皆さまからの「地域のために使ってほしい」という思いのこもった預託（金銭や物品、技術）をお預かりし、地域福祉のために大切に活用しています。

預託の受付は、本所・各支所・分室でお受けしています。

皆さまのあたたかい善意をお待ちしています。

市内

【物品預託】

丹波ひかみ農業協同組合 様 米

柏原地域

【金銭預託】

丹波OB大学38会 様 1,544円

南多田 柏原中学校 生徒会 様

【物品預託】

匿名 様 1件

柏原 柏原自治協議会 様 お菓子他

氷上地域

【金銭預託】

沼 明昌あすなる会 様 2回

常楽 カラオケ喫茶歌今翔 塚松辰雄 様

稲畑 笑稲の会 様 10,530円

青垣地域

【金銭預託】

佐治 匿名 様 10,000円 商品券

【物品預託】

匿名 様 衣類

遠阪 足立 康二 様 杖

春日地域

【金銭預託】

平松 匿名 様 12,000円

近藤 まさ子 様 10,000円

東部地域のために

黒井 大槻 佐知子 様 2回

【物品預託】

平松 滝本 幹雄 様 野菜 3回

多利 和田 豊 様 野菜 8回

黒井 なかで農業合同会社 中出 靖大 様

丹波市大納言小豆雑穀米パック

匿名 様 野菜2回

野上野 尾松 賢作 様 木工細工

柚津 近藤 豊 様 介護用品

亡き母ゆきえ様の供養のため

山南地域

【金銭預託】

冒険投資家 岡崎 健一 様 20,000円

【物品預託】

谷川 赤永 一子 様 衣類

* 預託内容等の掲載については、本人の意思を確認しています。預託理由については、一部省略しています。

* 金銭預託は寄付金控除の対象になります。



丹波市社協善意銀行 ありがとうのコーナー

昨年12月、株式会社西山様より、善意銀行へお米1トンをご寄付いただきました。

株式会社西山様は、これまでも地域福祉の向上にご協力くださっている企業です。今回は「生活にお困りの子育て世帯の力になりたい」という温かい思いからお米を届けてくださいました。

寄付されたお米は、12月末から順次、生活にお困りの子育て世帯へ配布しました。また各支所・分室の社協職員および市社会福祉課職員が、これまで関わりのあるご家庭へ直接お届けしました。



このたびのご支援により、年末の時期に多くのご家庭へお米と一緒に安心をお届けすることができました。あたたかいご厚意に、心より感謝申し上げます。

社協では、今後も地域の皆さまとともに、子育て世帯や援助を必要とする方々への支援に取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

わたしのまちの

ほっと
さん

第23回

(山南地域)さまざまなボランティアで活躍

うえき じゅんこ

植木 淳子さん



活動をはじめたきっかけ

60歳で定年を迎え、「何かできることはないか」と考えていたときに、認知症予防ゲームの養成講座といずみ会の講習を知り受講しました。

認知症予防ゲームでは、先輩受講者とともにボランティアグループ「たんぽぽ」を立ち上げ、山南地域を中心に活動しています。さらに、いきいき百歳体操のサポーター養成講座も受講し、サポーターとして活動中です。

いずみ会では、調理実習などを通して子どもから高齢者までいろいろな年代の方に食の大切さを伝えています。

やりがい

様々な地域でレクリエーション講師として皆さんと脳トレや体操をし、「楽しかった」「こんなに笑ったことない」と参加者の皆さんに言っていただけることがやりがいにつながっています。また、皆さんとおしゃべりすることで、自分自身の元気にもつながっています。

これから

歳を重ねると、遠出をするより地域での活動が主になってきます。地域で運動と食育どちらもできる場を作りたいと思っています。また、欲張りを言うと現在、有機農業の活動もしているので安全に作った野菜を使い、みんなでおいしい料理を作って楽しく食せる機会を作れたらと思っています。

ご案内

丹波市社協 西部支所・西部ケアマネジメントセンターの 事務所移転します

このたび、丹波市社協西部支所および西部ケアマネジメントセンターの事務所が令和8年4月1日(水)から新たな場所へ移転します。

これからも引き続き、地域の皆さんの身近な窓口として取り組んでまいります。

【新住所・電話番号】

■ 丹波市社協 西部支所

住所 〒669-3642
丹波市氷上町香良 42

電話 0795-82-4613

FAX 調整中

※電話番号は変更ありません。
※FAX番号は変更になります。



■ 西部ケアマネジメントセンター

住所 〒669-3571
丹波市氷上町新郷 44

電話 0795-82-5898

FAX 0795-82-4755

※電話・FAX番号は変更ありません。

